

統計学基礎 練習問題

第9回 1変量データの記述 (7)

2015年11月5日

問1 下のデータは、2014年の都道府県別交通事故死亡者数のデータである。これらのデータについて以下の問に答えなさい。ただし割り切れない数値がある場合は、四捨五入して小数点以下第2位まで求めること。

鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知
34	26	90	117	58	31	52	75	41

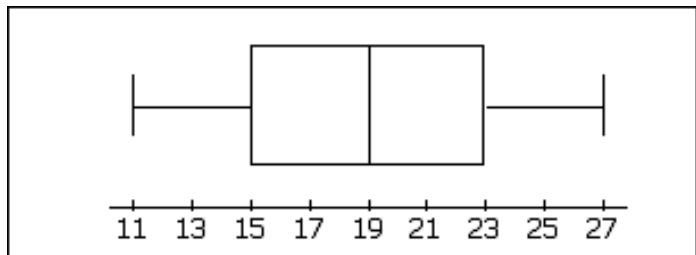
1. レンジを求めよ。

2. 四分位範囲を求めよ。

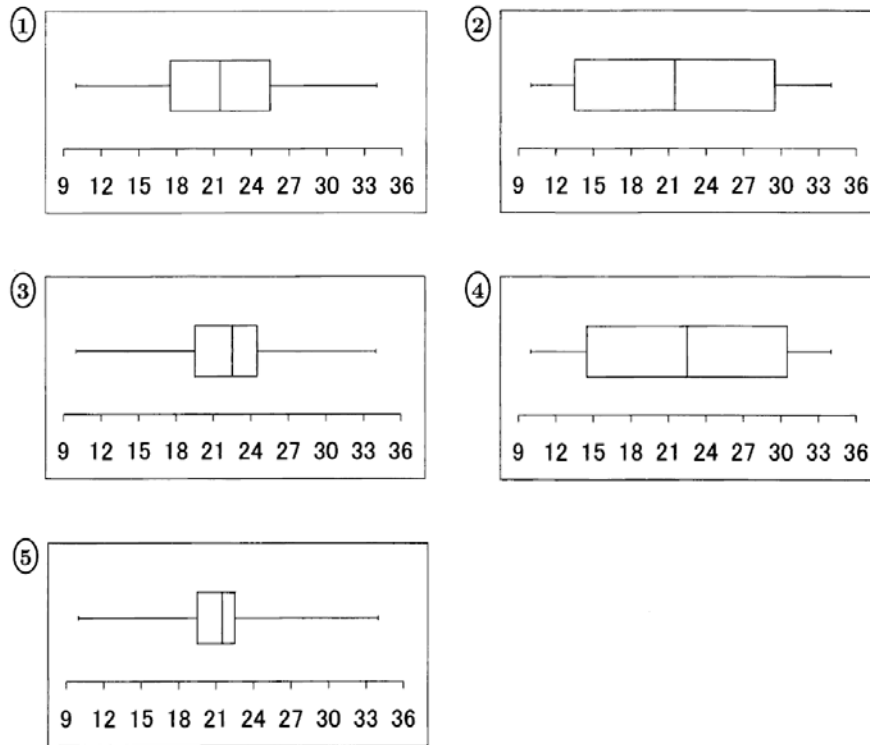
問2 ある学校の中学3年生男子のハンドボール投げの結果を箱ひげ図に表したところ、右の図のようになった。この箱ひげ図から示せないものを、次のAからDの中から一つ選べ。

- A. 範囲は16である。
- B. 中央値は19である
- C. 四分位範囲は8である。
- D. 平均は19である。

(統計検定3級問題例)

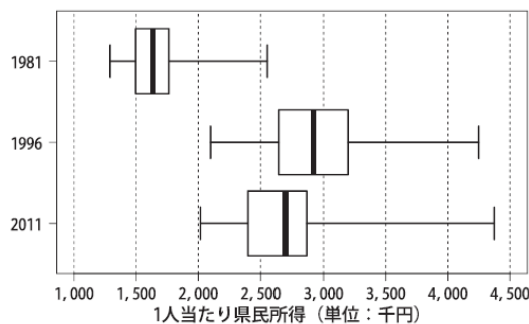


問3 中学3年のあるクラスの男子生徒のハンドボール投げの結果(単位はm)を調べたところ、最小値は10、最大値は34、中央値は22.5、第1四分位数は19.5、第3四分位数は24.5、平均値は21.5、標準偏差は4.02であった。このデータの箱ひげ図として、次の①～⑤のうちから最も適切なものを一つ選べ。



(統計検定3級 2011)

問4 次の箱ひげ図は、1981年度、1996年度、2011年度の47都道府県別1人当たりの県民所得(単位:千円)のデータを表したものである。



資料: 内閣府「県民経済計算」

この箱ひげ図から読み取れることとして、次の①～⑤のうちから最も適切なものを一つ選べ。

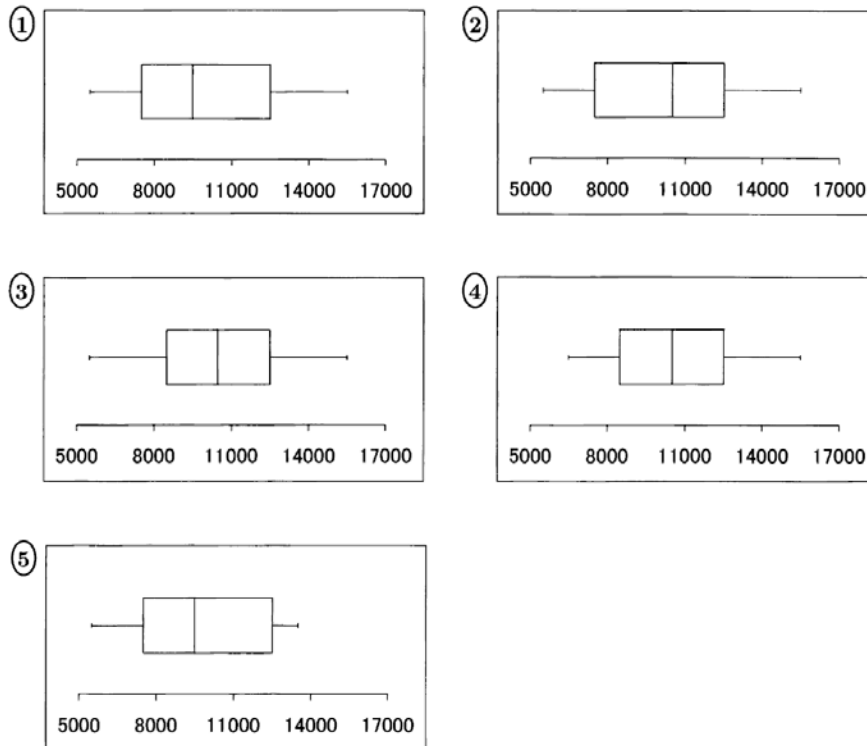
- ① 1981年度の最大値は、1996年度の最小値と同じ値になっている。
- ② 1981年度と2011年度の範囲は同じ値になっている。
- ③ 1981年度の四分位範囲は約250(千円)である。
- ④ 1996年度の平均値は約2,922(千円)である。
- ⑤ 2011年度の標準偏差は約400(千円)である。

(統計検定3級 2015.6)

問5 ある幼稚園の男子の1日の歩数を調べたところ、次の度数分布表が得られた。なお四捨五入のため、各階級の相対度数の合計は100%になるとは限らない。

階級	度数	相対度数
4,000 ~ 5,999	1	1.5%
6,000 ~ 7,999	17	25.0%
8,000 ~ 9,999	18	26.5%
10,000 ~ 11,999	14	20.6%
12,000 ~ 13,999	14	20.6%
14,000 ~ 15,999	4	5.9%
合計	68	100.0%

このデータの箱ひげ図として、次の①~⑤のうちから最も適切なものを一つ選べ。



(統計検定3級 2011)